

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 生活クラブあのおの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		どうしてもベッドや座位保持等場所を取ってしまうので、その日の利用に合わせて毎日使うものを出すように工夫しています	
	②	職員の配置数は適切である	6			利用者さんが増えれば、非常勤も増やしていく予定です
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		玄関から段差なく入室できるような部屋になっています	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		日々の清掃と月ごとに決めた清掃をしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		毎日の予定と振り返りをし、お休みの職員にも伝えるツールを整えています	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		職員会議で評価表のまとめをしています	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページでの公表をしています	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		第三者機関を探しています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		のびのびの会や重心ネット等会員となって、研修を案内しています	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		多職種で分析して作成しています	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	「発育・発達の様子」一覧表を参考にしています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		多職種で分析して具体的な支援内容を作成しています	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		計画作成に職員の意見も入れています。毎日、発達アプローチを確認しながら支援しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		振り返りと予定を話し合っていて決めています	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		運動や音楽、制作等季節も意識して活動しています	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		予定の確認をしています	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		毎日の予定と振り返りをし、お休みの職員にも伝えるツールを整えています	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		振り返りを大切にしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		3ヶ月、6ヶ月とその子の発達に応じてモニタリングを行っています。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		計画相談支援の担当者や情報共有しています
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		南多摩保健所と市内保健センターの保健師さんと連携をとっています	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		訪問看護、市役所障害福祉、訪問医と連携しています。	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		必要に応じて主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1		該当する利用者さんがいないが、これから情報共有を進めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1		該当する利用者さんがいないが、これから情報共有を進めていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		MCSを使った情報共有をしています。 ケース会議など関係機関との会議には出席して情報共有しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	施設の前の公園に遊びに来る保育園児や近所の親子と挨拶をするなどの交流はあります。	・兄弟児在籍保育園との交流を具体的に内容を考えていく。 ・兄弟児の参加できる療育参観などを今後企画していきたい。
保護者への説明責	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	施設長か児発管が出席するようにしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		サービス提供記録の他、送迎時にも伝えるようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	1		これから取り組んでいきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の際、説明をしています。	
保護者への説明責	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		個別支援計画面談の際、説明をしています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	面談や送迎時に話を伺っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		・計画しているがまだ保護者同士の交流が図れていない。 ・年に数回、保護者参観日を企画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		急な送迎の依頼にも工夫して対応している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
任 等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・夏にプール開きを行うことができた。 ・利用ごとに写真を入れて報告している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人のマスコットキャラクターを決めて、計画や振り返りの話し合いに使っています	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		聴覚障害のあるお子さんについて、対応の仕方など学習しています	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		今後、地域とのつながりのもてる行事を企画していきたい。 3/30 放デイと合同で企画します
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		各マニュアルは策定し、説明をするようにしています 防犯は警察の方も来ていただき訓練をしています	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		子どもと一緒に避難訓練は年2回ですが、机上訓練や子ども無しでの訓練を定期的に行っています。災害時の伝言ダイヤル訓練は、保護者の方にも参加いただいています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		医師の指示書やおくすり手帳等、変わった時に届けて貰っています	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			今は該当するお子さんがいませんが、指示書に基づく対応をしていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		作成しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修を行っています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		職員の話し合いを行い、個別支援計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。